

GXP1625 / GXP1620 / GXP1610

設定マニュアル (手動設定版)

Ver2.1.8 2019/02/28 更新
Ver2.1.7 2019/02/27 更新
Ver2.1.6 2018/02/21 更新
Ver2.1.5 2018/01/18 更新
Ver2.1.4 2017/07/20 更新
Ver2.1.3 2017/06/27 更新
Ver2.1.2 2017/06/06 更新
Ver2.1.1 2017/05/25 更新
Ver2.1.0 2017/03/31 更新
Ver1.0.0 2015/06/10 作成



このたびはGXP1625 / GXP1620 / GXP1610 をご購入いただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みになり、お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
当サポートにて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社までお願いいたします。
※ 製造元へのお問い合わせはご遠慮ください

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・ GXP1625 または GXP1620 / GXP1610 本体
- ・ 受話器
- ・ ACアダプタ
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ スタンド
- ・ Quick Installation Guide

■免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ GXP1625 / GXP1620 / GXP1610 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

■接続方法

1. 本体とスタンドを接続する
2. イーサネットケーブルを本体後側の「LAN」とブロードバンドルーターに差し込む
3. ACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
4. カールコードを本体の「HANDSET」に差し込む

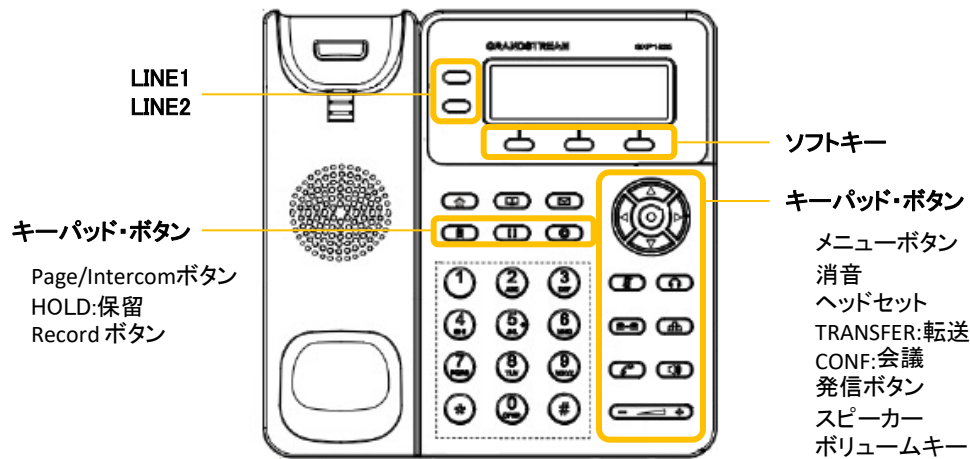
※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※ 必ずGXP1625 / GXP1620 / GXP1610 本体後ろ側の「LAN」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。
本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、GXP1625 / GXP1620 / GXP1610 を通してネットワークに接続する事が可能です。

※ GXP1625はPoE対応、GXP1620およびGXP1610はPoE非対応

GXP1625/GXP1620/GXP1610とは

GXP1625 / GXP1620 / GXP1610 とは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。発信として使用出来ます。



LCDディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

ソフトキー

次画面	待ち受け画面、天気とIPアドレスが表示されます。切り替えるには、このボタンを押してください。
全転送	無条件に、別の電話へ電話線を転送します。
再発信	直前にかけた相手にかけ直す事ができます。相手が話し中や留守の時のかけ直しに便利です。
不在着	このオプションは、この電話への非応答の通話を示します。表示された番号を選択し、受話器を取らずにリダイヤル/ハンドセットボタンを押すと発信することが出来ます。
受ける/拒否	着信を受けるか、受けとらないかを選ぶことが出来ます。
終了	コールを終了します。

キーパッド・ボタン

LINE1/LINE2	回線の切り替えボタンです。「LINE1」「LINE2」それぞれに回線を設定できます。
Page/Intercom ボタン	「設定」「コール機能」「インターコムーザーID」に電話番号を設定すると、ボタン押下して発信。通話成立後は自動的にスピーカー通話となりでインターフォンのようにして会話できる。
HOLD:保留	通話中、相手に待ってもらう時に使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。
Record ボタン	通話中に押すと録音が始まるが録音するには、Grand Streamのサーバー(UCM61xx)が必要。 ※ 当サービスでは未検証。
Menu メニューボタン	電話機にセットされた設定が確認できます。上/下/左/右に移動する4つのナビゲーションキーを押してください。通話中に押していただくと、音量の調節が出来ます。 電話が使用されていない場合に、キーパッド・コンフィギュレーション「MENU」モードを入力するためには、中心に円形のボタンを押してください。 あるいは、キーパッド・コンフィギュレーション中にいる場合ENTERキーとしてそれを使用してください。
消音	待ち受け時は着信拒否モード、通話中は自分の音声相手に届かなくなります。
ヘッドセット	ヘッドセットを使用する際に利用します。
TRANSFER:転送	電話機の機能として、転送をすることが出来ます。※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
CONF:会議	電話機の機能として、今の通話に第三者を参加させることが出来ます。 ※当サービスでの使用は推奨致しておりません。
発信ボタン	ハンドセットモードを有効/無効、または再ダイヤル/発信として使用出来ます。
スピーカー	ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話が出来ます。
ボリュームキー	受話音量を7段階に調節します。

LCDディスプレイでの設定項目

メニューボタン
様々な設定や通話履歴を確認します。

メニュー円形ボタン	待ち受け時、設定メニューに進みます。Enterキーとしても利用します。
メニュー上キー	待ち受け時、メニュー上キーを押すことで不在着信を表示します。
メニュー下キー	待ち受け時、メニュー下キーを押すことで発信履歴を表示します。
メニュー右キー	待ち受け時、メニュー右キーを押すことで着信履歴を表示します。

設定メニュー表記説明

通話履歴	Local Call Log 受信履歴、発信履歴、不在着信履歴、転送電話の確認と削除が可能です。 Broadsoft 通話記録
状態	・ネットワーク状態 IP設定情報 (DHCP/Static IP/PPPoE), IPv4 address, IPv6 address, MAC, サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー、NTPサーバーの確認 ・アカウント状態 登録済み/未登録 で表示されます。 ・System Status ハードウェア、ソフトウェアバージョン、IP Geographic Information、特別機能の確認
電話帳	・ローカル電話帳 電話帳を表示します。新規追加・編集・削除が可能です。 ・ローカルグループ 電話帳グループを表示します。グループ新規追加・編集・削除が可能です。 ・Broadsoft電話帳 ・LDAPディレクトリ LDAPディレクトリオプションの設定・探索。非ASCII文字は非対応。
メッセージ	インスタントメッセージ 留守番電話の確認
お好み設定	・受信拒否 着信拒否設定と解除します。 ・着信音 デフォルト着信音、着信音1〜3より選択します。 ・着信音量 Level1〜Level7より選択します。 ・LCDコントラスト設定 Level1〜Level5より選択します。 ・LCD明るさ Active : Level1〜Level8より選択します。 待機中 : Level1〜Level8より選択します。 ・XML形式SCRダウンロード XML形式待受スクリーンファイルをダウンロードします。WEB GUIから設定が必要です。 ・カスタムSCR削除 カスタムXML形式待受スクリーンファイルを削除します。 ・表示言語 表示言語の変更が可能です。 ・Date Time タイムゾーンの設定とNTPサーバーを設定します。手動設定も可能です。 ・Security Config via Keypad Menu 無制限/基本設定のみ/制限モード/Locked Mode Web Access ModeをHTTP/HTTPSを選択します。 Disable SSH いいえ/はい ・イヤホンタイプ 普通/Plantronics EHSから選択します。 ・アスタリスクキーロック キーロックの有効/無効を設定。有効にすると*ボタンを長押しでキーパッドがロックされます。 パスワード キーパッドロック解除のパスワードを設定可能です。
IPアドレスダイヤル	IPアドレス宛に直接発信します。

LCDディスプレイでの設定項目

電話	・SIP アカウントごとにSIPアカウント設定を行います。 ・コール機能 アカウントごとに転送設定を行います。転送番号を入力して保存します。
システム	・ネットワーク ネットワーク情報を設定します。 ・アップグレード ファームウェア更新サーバ・システム設定サーバなどを設定します。 ・UCM Detect ・工場出荷設定 音声ループバックテスト/診断モード/キーボード診断/Certificate Verification 音声やボタンの動作を確認できます。 ・工場出荷設定に戻る
再起動	電話機を再起動します。

※LCDディスプレイ表記はファームウェアバージョンによって異なる場合がございます。

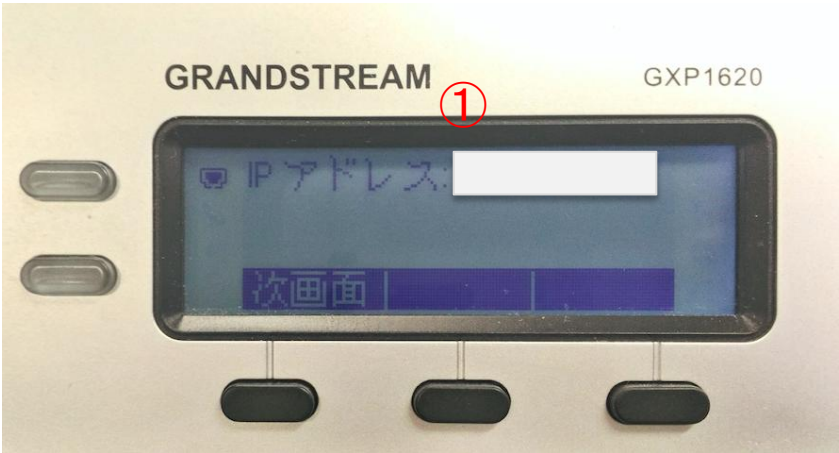
電話機待受画面表記について

【メイン画面】



- ①アカウント登録確認アイコン
白枠の中が黒:アカウント登録完了
白枠のみ:アカウント登録未完了
- ②アカウント名が表示されます。
半角9桁までしか表示されない仕様です。
- ③次画面を押すとIPアドレスを確認できます。

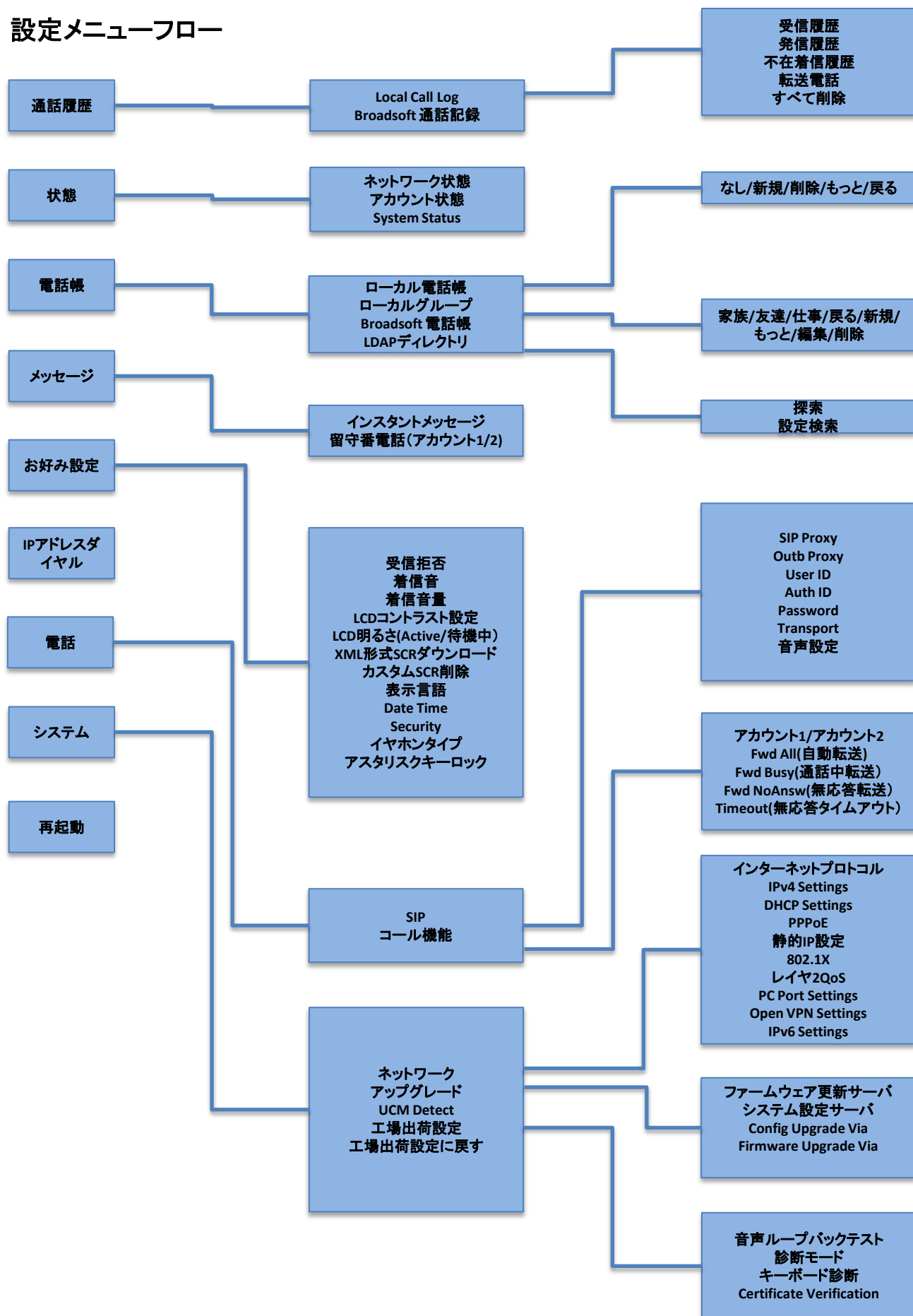
【次画面】IPアドレス表示画面



- ①IPアドレスが表示されます。
※IPアドレス桁数によっては全て表示されない場合があります。
下記の手順でもIPアドレスを確認可能です。
メニュー>状態>ネットワーク状態>IPv4

LCDディスプレイでの設定項目

設定メニューフロー



設定方法

① GXP1625 / GXP1620 / GXP1610 本体のIPアドレスを確認する。

ディスプレイ表示されている[次画面]の下にある、ソフトボタンを押すとIPアドレスが表示されます。

② webブラウザから、設定ページを開く。

GXP1625 / GXP1620 / GXP1610 と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

http://(IPアドレス)/ 例:192.168.1.2 の場合、<http://192.168.1.2/>

※ファームウェアバージョンによって画面構成が異なる場合がございます。



Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

③ 上記画面が表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、言語を「日本語」に選択して「ログイン」をクリックします。

※機器初期直後のユーザー名、パスワードは「admin」です。

セキュリティ確保のため、手順⑨にて必ず任意のパスワードに変更して下さい。

※ログインユーザー名はadminで固定。変更不可となります。

弊社にて設定出荷した機器のデフォルトパスワードは機器に同梱いたしております。

※ 機器初期化直後のユーザー名、パスワード「admin」でログインした場合に強制的にパスワードの変更を求められます。

現在のパスワード: admin

新しいパスワード・パスワードの確認: お好きなパスワードを設定して下さい。

パスワードを忘れてしまうと機器の再設定が出来なくなります。

必ず控えておくようお願い致します。



設定方法

- ④ 画面上部のFactory Resetをクリックしてください。
Factory Resetの許可を求められますので、OKをクリックしてFactory Resetを開始してください。



- ⑤ 次に進むには、開始ボタンをクリックします。Factory Resetが完了し、ログイン画面に戻ります。



- ⑥ Factory Reset完了後、ユーザー名とパスワードを入力し、再度ログインをクリックします。



Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

設定方法

- ⑦ 画面上部「アカウント」タブの「アカウント1」をクリックします。
「一般設定」タブをクリックします。

アカウント名: & SIPユーザID: & 認証ID: & 名前: ユニーク(10桁の数字)を入力します。
SIPサーバ: & アウトバウンドプロキシ: お客様管理ページに記載されているログインサーバを入力し、その後に“:25060”と入力します。※管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバの後ろの“:25060”は入力しないで下さい。
認証パスワード: 端末パスワードを入力します。
もし、管理ページにてユニークの端末パスワードの変更を行った場合は、変更したパスワードを入力します。
留守番電話ユーザID: 「999」を入力します。

※ユニーク等をコピー&張り付けで入力した際に空白(スペース)が一緒に入力されてしまうと着信できなくなる不具合があります。

入力が完了しましたら、「保存」のタブをクリックします。
2つ目のユニークを設定する場合は、「アカウント2」も「アカウント1」同様に設定してください
※GXP1610の場合、2つ目のユニークは設定できません。

- ⑧ 画面左部「アカウント」タブの「ネットワーク設定」をクリックします。

NATトラバース: Keep-Aliveを選択します。
入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑨「アカウント」タブの「SIP設定」-「基本設定」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset

日本語



状態 アカウント **設定** ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

アカウント

アカウント 1

一般設定

ネットワーク設定

SIP 設定

基本設定

拡張機能

セッション タイマー

セキュリティ設定

音声設定

通話設定

アカウント 2

基本設定

TEL URI	☒ 無効化 ☐ User=phone ☐ 有効化
SIP登録	☐ NO ☒ YES
再起動時に登録を取り消す	☒ NO ☐ All ☐ Instance
登録期限	60
Subscribe Expiration	60
期限切れする前に再登録	0
Enable OPTIONS Keep Alive	☒ NO ☐ YES
OPTIONS Keep Alive Interval	30
OPTIONS Keep Alive Max Lost	3
ローカルSIPポート	50000~60000
SIP登録失敗再試行待ち時間	20
SIP T1 タイムアウト	0.5 秒
SIP T2 タイムアウト	4 秒
SIP転送	☒ UDP ☐ TCP ☐ TLS/TCP
TLS使用する際のSIP URI スキーム	☐ SIP ☒ sips
TCP/TLSのContactに実際エフェメラルポートを使用	☒ NO ☐ YES
Outbound Proxy Mode	☒ in route ☐ not in route ☐ always send to
SIP Instance IDサポート	☐ NO ☒ YES
SUBSCRIBE for MWI	☒ NO ☐ YES
登録の SUBSCRIBE	☒ NO ☐ YES
100rel有効化	☒ NO ☐ YES
Caller ID表示	☒ Auto ☐ 無効化 ☐ From ヘッダー
Privacyヘッダを使用	☒ デフォルト ☐ NO ☐ YES
P-Preferred-Identityヘッダを使用	☒ デフォルト ☐ NO ☐ YES
Ignore Alert-Info header	☒ NO ☐ YES

保存

保存して適用

リセット

ローカルSIPポートに50000～60000のいずれかの数字を入力します。
※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当て下さい。
例: 端末Aには50000、端末Bには50001

入力が完了したら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑩ 画面左部「アカウント」タブの「SIP設定」の「Custom SIP Headers」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

Grandstream

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.56

アカウント

アカウント 1

一般設定

ネットワーク設定

SIP 設定

基本設定

Custom SIP Headers

拡張機能

セッション タイマー

セキュリティ設定

音声設定

通話設定

アカウント 2

Custom SIP Headers

Privacyヘッダを使用 ☐ デフォルト ☐ NO ☐ YES

P-Preferred-Identityヘッダを使用 ☐ デフォルト ☐ NO ☐ YES

Use P-Access-Network-Info Header ☐ NO ☐ YES

Use P-Emergency-Info Header ☒ NO ☐ YES

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2017. All Rights Reserved.

Use P-Access-Network-Info Header :「NO」に設定します
Use P-Emergency-Info Header :「NO」に設定します

入力が完了しましたら「保存して適用」のボタンをクリックします。

⑪ 画面左部「アカウント」タブの「SIP設定」の「セキュリティ設定」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

アカウント

アカウント 1

一般設定

ネットワーク設定

SIP 設定

基本設定

拡張機能

セッション タイマー

セキュリティ設定

音声設定

通話設定

アカウント 2

セキュリティ設定

ドメイン証明書確認 ☒ NO ☐ YES

Validate Certificate Chain ☒ NO ☐ YES

受信メッセージ有効化 ☒ NO ☐ YES

受信INVITEのSIP ユーザ IDを確認 ☐ NO ☒ YES

プロキシから受信する SIP のみを許可します ☒ NO ☐ YES

受信する INVITE を認証します ☒ NO ☐ YES

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

受信INVITEのSIPユーザIDを確認: YESを選択します。
(英語表示の場合は、Check SIP User ID for Incoming INVITE)

入力が完了しましたら「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法

⑫ 画面左部「アカウント」タブの「音声設定」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

PCMU バージョン 1.0.4.22

アカウント

アカウント 1
一般設定
ネットワーク設定
SIP 設定
音声設定
通話設定
アカウント 2

音声設定

DTMF発信 in-audio RTP (RFC2833)を介する SIP INFOを介する

DTMF ペイロードタイプ 101

選択項 1 PCMU
選択項 2 PCMU
選択項 3 PCMU
選択項 4 PCMU
選択項 5 PCMU
選択項 6 PCMU
選択項 7 PCMU

200OK SDP で最初に一致するボ
コーダを使用します NO YES

Disable Multiple m line in SDP NO YES

SRTP モード NO

対称的RTP NO YES

無音抑止 NO YES

TXごとの音声フレーム 2

G723レート 6.3kbpsエンコードレート 5.3kbpsエンコードレート

G.726-32 Packingモード ITU IETF

iLBCフレームサイズ 20ms 30ms

iLBCペイロードタイプ 97

ジッター・バッファタイプ 適応

ジッター・バッファ長 300ms

Hide Vocoder NO YES

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

DTMF発信: RTPのみを選択します。

※ユニーク管理ページでDTMF送信方法をDTMF Inbandに設定された場合は「in-audio」を選択してください。

選択肢1~7: PCMUを設定します。

※PCMU以外のコーデックを使用する場合も選択肢1~7は統一させて下さい。

入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定方法

⑬ 画面上部「設定」タブの「コール機能」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset

日本語



状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

設定

一般設定

コール機能

マルチキャスト ページン
グ

着信音

音声制御

LCD ディスプレイ

日付と時刻

Web サービス

XML アプリケーション

プログラム可能なキー

Broadsoft XSI

コール機能

Offhook自動ダイヤル

オフ フック タイムアウト

インターコムユーザID

Bypass Dial Plan Through Call
History and Directories

通話中着信無効化

通話中着信音無効化

IPアドレスダイヤル無効化

クイック IP-call モードを使用

電話会議無効化

in-call DTMF表示無効化

Mute Key Functions While Idle

転送無効化

転送キーを押す際に発信されるIn-
callダイヤル番号

自動在席転送

SIP URIの中の'#'を%23に置換
しない

Click-To-Dial 機能

通話履歴をフラッシュメモリへの
書き込み

書き込みタイムアウト

最大未保存ログ

User-Agent Prefix

Predictive Dialing Feature

保存

保存して適用

リセット

0 は、このオプションが無効であることを意味します。

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

※「通話中着信無効化」

NO: 通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に呼び出しを通知します。
YES: 通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に話中を通知します。

※YESを選択するとキャッチ無しになります、キャッチありにしたい時はNOを選択。

※「通話中着信音無効化」(通話中着信無効化がNOの場合のみ有効)

NO: キャッチ入電時に音で通知します。
YES: キャッチ入電時に音での通知無しとします。

設定方法

⑭ 画面左部「設定」タブの「日付と時刻」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

設定

一般設定
コール機能
マルチキャスト ページン
グ
着信音
音声制御
LCD テキストプレイ
日付と時刻
Web サービス
XML アプリケーション
プログラム可能なキー
Broadsoft XSI

日付と時刻

NTP サーバ ntp.jst.mfeed.ad.jp

Allow DHCP Option 42 to override NTP server ☐ NO ☒ YES

タイムゾーン GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク)

☒ DHCP オプション 2 がタイム ゾーン設定を無視できるよう
にします

ユーザ定義タイムゾーン MTZ+6MDT+5,M4.1.0,M

時刻表示フォーマット: yyyy-mm-dd

時間表示フォーマット ☒ 12時間表示 ☐ 24時間表示

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

NTPサーバ:「 ntp.jst.mfeed.ad.jp 」を入力します。
タイムゾーン: GMT+09:00 (日本、韓国、ヤクーツク)を選択します。
入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

⑮ 画面上部「メンテナンス」タブの「Web アクセス」をクリックします。

Grandstream GXP1620 管理者 ログアウト | 再起動 | Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

メンテナンス

Web アクセス

アップグレードとプロビ
ジョニング
Syslog
言語
Action URL
TR-069
セキュリティ

Web アクセス

ユーザー パスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

管理者パスワード

現在のパスワード

新しいパスワード

パスワードの確認

保存

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

現在のパスワード:「現在のパスワード」を入力します。
新しいパスワード:「任意のパスワード」を入力します。
パスワードの確認:「新しいパスワード」を再度入力します。
※設定ページにログインする際のパスワードになります。機器を初期化した直後の初期パスワードは全機器共通になりますので
セキュリティ確保のためお客様にて推測されにくいパスワードを設定して下さい。

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑮ 画面上部「メンテナンス」タブの「アップグレードとプロビジョニング」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト **再起動** Factory Reset 日本語



状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

メンテナンス

Web アクセス

アップグレードとプロビジョニング

Syslog

言語

Action URL

TR-069

セキュリティ

アップグレードとプロビジョニング

フレームウェア更新と
プロビジョニング

☐ 新しいフレームウェアを常に確認

☐ 接頭/接尾文字異なる場合のみ新しいフレームウェアを確認

☒ 常にフレームウェア確認をスキップする

Always Authenticate Before Challenge ☒ NO ☐ YES

Validate Hostname in Certificate ☐ NO ☒ YES

DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可 ☐ NO ☒ YES

Additional Override DHCP Option

None

DHCP オプション120によるSIPサーバ設定を許可 ☒ NO ☐ YES

3CX 自動プロビジョニング ☒ NO ☐ YES

自動アップグレード

☒ はい、毎 10080 分

☐ はい。毎日アップグレードを確認します。

☐ はい。毎週アップグレードを確認します。

チェックする時刻(0-23)

1

チェックする曜日(0-6)

1

Disable SIP NOTIFY Authentication ☒ NO ☐ YES

Config

Config 以下を介して更新 ☐ TFTP ☐ HTTP ☒ HTTPS

設定サーバパス

fm.grandstream.com/gs

Config HTTP/HTTPSユーザ名

Config HTTP/HTTPS パスワード

設定ファイル接頭文字

設定ファイル接尾文字

XML設定ファイルパスワード

Upload Device Configuration

アップロード

Firmware

Firmware 以下を介して更新 ☐ TFTP ☐ HTTP ☒ HTTPS

フレームウェアサーバパス

fm.grandstream.com/gs

Firmware HTTP/HTTPSユーザ名

Firmware HTTP/HTTPS パスワード

フレームウェアファイル接頭文字

フレームウェアファイル接尾文字

保存

保存して適用

リセット

ファームウェア更新とプロビジョニング:「常にファームウェア確認をスキップする」を選択します。

※「常にファームウェア確認をスキップする」を選択するとファームウェアが更新されません。
ファームウェアを更新したい場合、[ファームウェアのバージョンアップ方法]のページを参照ください。

入力が完了したら「保存して適用」のタブをクリックします。

設定の保存が完了したら、画面上部の「再起動」をクリックします。

設定方法

⑪ 端末のレジスト(登録)を確認します

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

各種設定

購入

通話履歴

電話帳

サークル情報

言語を選択

ユニーク一覧

全表示

SIP端末

クラウドPBX(ワイモバイル)

発着転送

会議室

発信仕方

その他

4件

解約	解約取消	詳細	ユニーク	状態	名称	所属	ピックアップアップグループ	着信			発信			U種別	備考
								内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
☐	☐		0000888888				Default	200	-	-	200	-	-		
☐	☐		0000999999				Default	201	-	-	201	-	-		

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。



・・・レジスト(登録)ができている状態です。



・・・レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認する事ができます。

レジストができている状態になっていたら、設定完了になります。

※レジストが失敗している場合、端末に入力したユニーク、端末パスワード等に間違いがないかご確認ください。

付録:ファームウェアのアップグレード方法

ファームウェアのアップグレードを行いたい場合は以下の手順を行って下さい。

① 画面上部「メンテナンス」タブの「アップグレードとプロビジョニング」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト **再起動** Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク メンテナンス 電話帳

バージョン 1.0.4.22

メンテナンス

Web アクセス

アップグレードとプロビジョニング

Syslog

言語

Action URL

TR-069

セキュリティ

アップグレードとプロビジョニング

フレームウェア更新と
プロビジョニング

新しいフォームウェアを常に確認
→ 接頭/接尾文字異なる場合のみ新しいフォームウェアを確認
→ 常にフォームウェア確認をスキップする

Always Authenticate Before Challenge ☒ NO → YES

Validate Hostname in Certificate ☒ NO → YES

DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可 ☒ NO → YES

Additional Override DHCP Option

DHCP オプション120によるSIPサーバ設定を許可 ☒ NO → YES

3CX 自動プロビジョニング ☒ NO → YES

自動アップグレード ☒ はい、毎1008分
→ はい、毎日アップグレードを確認します。
→ はい、毎週アップグレードを確認します。

チェックする時刻(0-23)

チェックする曜日(0-6)

Disable SIP NOTIFY Authentication ☒ NO → YES

Config

Config 以下を介して更新 ☒ TFTP ☒ HTTP ☐ HTTPS

設定サーバパス

Config HTTP/HTTPS ユーザ名

Config HTTP/HTTPS パスワード

設定ファイル接頭文字

設定ファイル接尾文字

XML設定ファイルパスワード

認証設定ファイル ☒ NO → YES

デバイス設定ダウンロード デバイス設定ダウンロード

Upload Device Configuration

Firmware

Firmware 以下を介して更新 ☒ TFTP ☒ HTTP ☐ HTTPS

フォームウェアサーバパス

Firmware HTTP/HTTPS ユーザ名

Firmware HTTP/HTTPS パスワード

フォームウェアファイル接頭文字

フォームウェアファイル接尾文字

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

ファームウェア更新とプロビジョニング:「新しいファームウェアを常に確認」を選択します。

Firmware 以下を介して更新:「HTTP」を選択します。

ファームウェアサーバパス:「firmware.grandstream.com」を入力します。

入力が終わりましたら最下部の「保存して適用」をクリックします。

画面上部の「再起動」をクリックします。再起動が完了後、しばらくすると電話機のディスプレイにファームウェアのアップグレード確認画面が表示されるので「はい」を選択します。何もボタンを押さない場合、自動的にアップグレードが開始されます。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。

アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。

初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

付録: 端末設定のバックアップ

端末を初期化する際などに設定のバックアップをしたい場合は以下の手順を行って下さい。

- ① 画面上部「メンテナンス」タブの「アップグレードとプロビジョニング」をクリックします。

Grandstream GXP1620

管理者 ログアウト 再起動 Factory Reset 日本語

GRANDSTREAM
CONNECTING THE WORLD

状態 アカウント 設定 ネットワーク **メンテナンス** 電話帳

Web アクセス
アップグレードとプロビジョニング
Syslog
言語
Action URL
TR-069
セキュリティ

メンテナンス アップグレードとプロビジョニング

Web アクセス
アップグレードとプロビジョニング
Syslog
言語
Action URL
TR-069
セキュリティ

新しいフォームウェアを常に確認
→ 接頭/接尾文字異なる場合のみ新しいフォームウェアを確認
常にフォームウェア確認をスキップする

Always Authenticate Before Challenge NO → YES

Validate Hostname in Certificate NO → YES

DHCP オプション43とオプション66によるサーバ設定を許可 NO → YES

Additional Override DHCP Option None

設定ファイルの接頭文字

XML設定ファイルパスワード

認証設定ファイル NO → YES

デバイス設定ダウンロード デバイス設定ダウンロード

Upload Device Configuration アップロード

Firmware

Firmware 以下を介して更新 → TFTP HTTP → HTTPS

フォームウェアサーバパス firmware.grandstream.cc

Firmware HTTP/HTTPSユーザ名

Firmware HTTP/HTTPS パスワード

フォームウェアファイル接頭文字

フォームウェアファイル接尾文字

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2016. All Rights Reserved.

デバイス設定ダウンロード :「デバイス設定ダウンロード」のリンクをクリックします。

バックアップファイルのダウンロードが始まります。デフォルトだと「config.txt」がファイル名になります。

※ダウンロードしたバックアップファイル(config.txt)にはSIPアカウントのパスワードは含まれていません。
復元する際に再度パスワードの入力が必要になります。

付録: バックアップの復元方法

バックアップファイルを復元させる場合は以下の手順を行って下さい。

- ① 画面右上「メンテナンス」タブの「アップグレードとプロビジョニング」をクリックします。



Upload Device Configuration : 「アップロード」をクリックします。

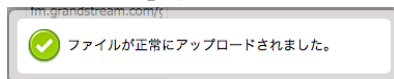
- ② 下のようなポップアップが表示されますので、「**ファイルを選択**」バックアップファイルを選択します。
バックアップファイルを選択したら、「**アップロード**」のボタンをクリックします。



- ③ バックアップファイルのアップロードが始まります。
ダイアログを閉じてしまうとアップロードがキャンセルされますので、画面はできるだけ動かさずにしばらくお待ちください。



- ④ 「ファイルが正常にアップロードされました。」と表示されたら、アップロード完了です。



- ⑤ バックアップファイルには、SIPアカウントのパスワードが含まれていません。再度パスワードの入力が必要になります。
9ページの ⑦ を参考に端末パスワードを入力して下さい。

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

	
	煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。
それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください
	着信拒否モードになっていませんか。 LCD画面右隅に進入禁止マークが表示されていませんか。	本体の消音ボタンを押下して、LCD画面右隅の進入禁止マークを消去して下さい。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法
ファームウェアが初期化されます。アップデート方法は必ず、弊社サポートまでお問い合わせください。
初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。
初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体で[●]ボタンを押して、青色のボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し、「設定」内にある「工場出荷設定に戻す」で決定します。
2. 「保存」を選択すると「全ての設定が初期化されます」と表示されるので再度「保存」を選択します。
3. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。